「歴史的建築物活用ネットワーク」第5回会議
～歴史的建築物活用のための地域ルール最新事例～

2013年9月に設立した歴史的建築物活用ネットワーク（HARNET）は、各地で「歴史的建築物」の保存・活用の制度構築を行い、その価値を次世代に承継する取組を全国に普及するための全国ネットワークとして、自然と暮らしの循環を見つめ直し、歴史によって繋がれてきた建築物に手をかけ続けることで、後世にその豊かさを継承することを目指しています。今年度も、自治体ごとに特徴のある多様な目的や運用の仕組みなどを持った事例が生まれています。

本会議は、こうした動きに対する政府の新しい支援策や制度への理解を深め、条例を制定した自治体の最新事例を学ぶことを目的に開催します。

◆日時・場所◆
日時：2018年3月17日（土）16時30分～18時30分（終了後19時より懇親会）
場所：KGU関内メディアセンター 神奈川県横浜市中区太田町2-23
横浜メディア・ビジネスセンタービル8階
参加費：1,000円 ＊受付にてお支払いください

◆ 内 容 ◆
（敬称略）
【開会】安藤邦廣 筑波大学名誉教授

【制度説明】歴史的建築物活用に関する制度説明と最新動向
国土交通省住宅局建築指導課企画事務局 松井 康治

◇事例報告◇（4地域 各15分）
「歴史的建築物活用のための地域ルールづくり最新事例」
群馬県富岡市、岡山県津山市、神奈川県箱根町、愛媛県内子町

◇ディスカッション◇
上記報告者、安藤邦廣 筑波大学後、後藤治 工学院大学、
西村幸夫 東京大学（コーディネーター）

◆懇親会◆ 19：00～21：00
bankart1929（横浜市中区海岸通3-9）にて開催
会費：3,000円 ＊受付にてお支払いください

◆参加申込方法◆
メールにて、件名に「全国会議 第5回申込」、文中にお名前、ご所属、懇親会参加有無を記載し、事務局info@h-ar.netまでお送りください

主催：歴史的建築物活用ネットワーク（HARNET）
http://h-ar.net/
特集

富岡市の新条例を読む。

歴史的建築物

富岡市では、新条例により、歴史的建築物の保護が強化されました。条例では、重要文化財の指定を含む、歴史的建造物の保全が図られます。特に、富岡製糸場周辺の歴史的建造物に対する注意が強調されています。条例の施行により、富岡市は、歴史的財産の保存を更に進めていくことでしょう。

富岡市役所

新条例

条例の主要な内容は、富岡市の歴史的建造物の保存及び活用に関するもので、富岡製糸場や旧波の駅、旧西鉄駅などの歴史的建造物の保護が図られています。条例の施行により、富岡市の歴史的財産がより一層の保護を受けます。

富岡市役所

条例の詳細

条例は、富岡市の歴史的建造物の保存及び活用に関するもので、富岡製糸場や旧波の駅、旧西鉄駅などの歴史的建造物の保護が図られています。条例の施行により、富岡市の歴史的財産がより一層の保護を受けます。
ワコク逆用建築物歴史的

活

ネット

たものをするという。その即法的問題として、避難規定と構造規定が懸念されている。建物内は

くへ向けて働くという。その法的問題として、避難規定と構造規定が懸念されている。建物内は

市の新条例を読む。
N O 2018 春

戸建物の建築用歴史的

済水

田原

建築

ネット

ワーク

高島は、「農村史の時代」の問題を提起した。しかし、これらの問題は、地方史の研究において重要な役割を果たしている。高島は、地方史の研究において重要な役割を果たしている。高島は、地方史の研究において重要な役割を果たしている。高島は、地方史の研究において重要な役割を果たしている。高島は、地方史の研究において重要な役割を果たしている。高島は、地方史の研究において重要な役割を果たしている。高島は、地方史の研究において重要な役割を果たしている。高島は、地方史の研究において重要な役割を果たしている。高島は、地方史の研究において重要な役割を果たしている。高島は、地方史の研究において重要な役割を果たしている。